

プロジェクト研究所 活動実績報告書

令和3年10月1日～令和4年9月30日

対話・コミュニティ共創デザイン研究所

研究課題「死生を支え合う対話とコミュニティの共創デザイン」

所長 竹之内裕文（未来社会デザイン機構・農学部）

本研究所は研究代表者のほか、4名の研究分担者（学内）、5名の客員（准）教授（学外）、3名の教育研究支援員（学外）から構成される。2年目（2021年10月～2022年9月）の主な活動は、以下の通りである。

- シリーズ・オンライン公開研究会（2021年12月12日・19日、1月10日）
別紙のとおり、医療福祉分野の第一線で活躍する客員教員/研究員とともにオンライン公開研究会を開催し、超学際的な共同研究の成果を発表した。
- 科学研究補補助事業の採択
研究課題「死生を支え合うコミュニティの思想的拠り所の究明——対話とコンパッションを糸口に」（2022-2026年度、基盤研究C、課題番号22K00009）
- 在外研究と国際学会発表
2022年6 - 9月に英国グラスゴー大学学際研究科に客員教授として滞在し、コンパッション都市・コミュニティ（compassionate cities and communities）の学術研究と国際連携を進めた。また同年9月20-23日にベルギーで開催された第7回PHPCI学会（Public Health Palliative Care International Conference）で、研究発表（What does it mean to be ‘compassionate’ ? From the perspective of a Japanese philosopher）を行った。
- 地域と連携した研究活動
2022年2月より松崎町まちづくりアドバイザーを務め、深澤準弥町長と松崎町第6次総合計画を策定した。